

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証一覧表(令和2年度事業)

No	担当部局課名	交付金事業の名称	事業実績	総事業費	うち 交付金充当	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実施による効果	
1	産業経済課商工観光グループ	上川町地域経済応援券発行事業	新型コロナウイルス感染症の全国的かつ急速な蔓延により、著しく影響を受ける町内商工業者を支援するため、上川町地域経済応援券を発行し、町内における消費活動の増進及び地域経済の活性化に寄与することを目的とする。	・発行総額 500円×34,320枚=17,160,000円 ・利用総額 500円×33,086枚=16,543,000円(利用率96.4%) ・利用可能加盟店舗:76事業所	17,253,174	16,737,000	R2.5.15	R2.10.30	応援券利用率が96.4%、利用総額が16,543千円となり、町内における消費活動の増進が図られ、新型コロナウイルス感染症の全国的かつ急速な蔓延により、著しく影響を受ける町内商工業者の支援として、効果的な取り組みであった。
2	産業経済課商工観光グループ	経営継続支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛や需要の落ち込みによって深刻な影響を受けている町内事業者に対して今後も経営を継続できるよう支援金を給付する。	・助成金給付件数:83件 ・助成金給付総額:27,974,603円	27,974,603	27,138,000	R2.5.29	R2.10.23	対象事業者全件に対し助成。新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上げが減少し経営継続に支障が生じている町内事業者に対し支援を行うことで、事業の継続を図ることができた。
3	保健福祉課介護福祉グループ	介護福祉関係施設等必需物品供給事業	各介護施設、介護サービス実施の事業者が新型コロナウイルス感染症防止対策の衛生対策(消毒液、マスク、ゴム手袋)に係る物品を購入・配布をするもの。各事業者による感染防止衛生対策により、施設利用者・職員等が安全に安心して、提供サービスを実施することができ、介護職場の環境の向上が図られる。また、各事業者の財政的な負担が緩和されることにより、引き続き介護サービスの提供の安定も図られる。	・施設5施設(特養兼デイサービス、介護老人保健施設、グループホーム、ホームヘルパー兼包括ケアプラン事業所、乳幼児診療所)マスク(ソフトサージカル・KN95)28,900枚、手指用アルコール 4.5l15本・1036本、ジェル250ml60本・400ml50本、物品等消毒用5212本・1729本・1504本・500ml25本 非接触型体温計15本、プラ・ゴム手袋 52000枚、PEエプロン1200枚、感染防護服 108 フェイスシールド458枚(取替含む)	3,977,768	3,859,000	R2.6.8	R3.2.10	各施設において、コロナ禍に感染対策の物品納入に苦慮したところ、本事業を通じ安定的に感染対策物品を確保できたことにより、施設の感染対策に役立てられ、また、施設運営においても、物品のコスト高の中の対策であった経費の面でも役立っていた。本事業に対し、各施設より感謝の言葉を頂いていることから、事業効果は、非常に効果的なものであった。
4	産業経済課商工観光グループ	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業	町内事業者に対し、町内における感染症のまん延を防止するため、新型コロナウイルス感染症対策に係る費用として20万円を給付する。	・助成金給付件数:126件 ・助成金給付総額:25,200,000円	25,200,000	24,446,000	R2.7.14	R2.10.23	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上げが減少し経営継続に支障が生じている上川町内の事業者に対し支援を行うことで、上川町内における感染症のまん延を防止し、クラスターの発生件数0とすることができた。
5	産業経済課商工観光グループ	家賃支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症防止対策で営業を自粛したことにより売上が急減したテナント事業者に対し、事業継続の下支えとするべく、地代や家賃を一部補助するための国の家賃支援給付金事業に上乗せ給付する。	・助成金給付件数:13件 ・助成金給付総額:2,501,192円	2,501,192	2,426,000	R2.7.30	R3.3.25	対象事業者全件に対し助成。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い発出された緊急事態宣言等により、売上げの急減に直面する小規模事業者及び個人事業主にとって建物の家賃の負担が重くなっている現状に鑑み、これらの事業者に対し支援を行うことで、事業の継続を下支えし家賃の円滑な支払いに資することができた。
6	産業経済課商工観光グループ	旅館業事業者支援金事業	新型コロナウイルスの感染症の拡大、また、それに対応する国の緊急事態宣言及び北海道の休業要請の影響に伴い、著しく需要が落ち込んだ宿泊施設を営む事業者に対し、滞在観光の受け皿の維持を図ることを目的として、上川町内の旅館・ホテルの事業継続に向け、支援金を交付する。	・助成金給付件数:16件 ・助成金給付総額:26,280,000円	26,280,000	25,494,000	R2.7.14	R2.10.23	新型コロナウイルス感染症の拡大、また、それに対応する国の緊急事態宣言及び北海道の休業要請の影響に伴い、著しく需要が落ち込んだ宿泊施設を営む事業者に対し支援を行うことで、宿泊事業者の倒産件数もなく、滞在観光の受け皿の維持を図ることができた。
7	産業経済課商工観光グループ	層雲峡温泉特別プラン事業	各宿泊施設において、商品券プレゼントプランにより集客を図るとともに、商品券を観光施設、土産店、飲食店、小売店などで利用を図り、商工振興を併せて行う。	・発行総額 500円×80,000枚=40,000,000円 ・利用総額 500円×77,535枚=38,767,500円(利用率96.9%) ・利用可能加盟店舗:15事業所	39,327,465	38,152,000	R2.7.31	R3.3.24	安心・安全な観光客の受け入れ態勢を整えた「層雲峡スタイル」を実施する事業者に対して支援を行うことで、上川町内の旅館・ホテルへの誘客を図るとともに、層雲峡地区における感染者数の発生数0とすることができた。また、商品券利用(96.9%)による上川町内の消費活動の増進及び地域経済の活性化に寄与することができた。
8	産業経済課商工観光グループ	層雲峡温泉広告宣伝事業	国が実施する「GO TOキャンペーン」及び北海道が実施する「どうみん割」による集客を図るため、テレビコマーシャル、新聞、フリーペーパーなどによる広告宣伝を実施する。	・件数:33件 ・事業総額:31,095,400円	30,000,000	29,103,000	R2.7.15	R3.3.25	TVや新聞、フリーペーパーなどによる各種広告媒体による広告宣伝を実施し、道民割+Gotoトラベル等による観光需要を取り込み、観光客入込数の減少幅を低減することができた。
9	産業経済課商工観光グループ	マイカー規制に係る感染症予防対策事業	マイカー規制の実施に伴い、バス運行や規制における感染症対策経費が増加することから、経費の補助等を行いマイカー規制の適正な運営を行う。	・件数:1件 ・事業総額:5,000,000円	5,000,000	4,850,000	R2.7.31	R2.8.25	マイカー規制(紅葉期の車両交通規制)実施に伴う感染症対策経費の補助を行い、コロナ禍におけるシャトルバス運行の感染症対策及び人数制限等の実施体制を確立することができた。

No	担当部局課名	交付金事業の名称		事業実績	総事業費	うち 交付金充当	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実施による効果
10	保健福祉課介護福祉グループ	かみかわっ子ふるさとフーリング事業	コロナ禍のため遠出を自粛し、自宅に籠りがちだった子どもたちや妊婦さんへ、地元の観光や食資源(飲食)の魅力に触れ体験、食満足を味わっていただく。また、観光や食資源からふるさとの良さ・すばらしさを感じてもらいながら、地元愛を育み、新しい生活様式の実践を促す。新生活様式の中での子育て世帯への支援と町内観光の振興に資する経済対策事業。	・実施期間 令和2年8月7日(金)～令和2年11月30日(月) ・実施内容 下記対象者へ1人8千円分のチケットを配布。(1人あたり2千円×4枚) ・交付件数 204世帯353人(内訳 高校生以下の子ども199世帯342人、妊娠届提出者11世帯11人) 1人8千円×353人=2,824千円 ・チケット使用額 2,714千円 ・チケット使用割合 96.1% ・事業実績 層雲峡温泉のホテル・民宿・・・260千円 飲食店・・・1,828千円 観光施設・アクティビティ・・・168千円 上川町特産品・・・458千円	2,835,784	2,751,000	R2.7.15	R3.2.25	チケット使用率が96%であり、コロナ禍で需要が著しく落ち込んだ観光業及び飲食業に対しての経済対策として効果的であった。特に飲食店に対して67%の利用があり寄与することができた。また、コロナ禍による自粛のため、自宅に籠りがちだった子どもたちや妊婦さんが、地元の観光や食資源(飲食)の魅力に触れ体験、食満足を味わうことができた。
11	保健福祉課介護福祉グループ	いきがい活動ふるさと味わい事業	自宅に籠りがちだった老人クラブの方々や独居高齢者(元気だ会)や高齢者団体の方々が、地元層雲峡温泉や町内で、地域の魅力に触れる宿泊や日帰り研修をする活動等に対し、一定の助成を実施。新生活様式の中での高齢者団体活動支援と町内観光の振興に資する経済対策事業。	・事業実施 研修参加 4団体 114人	684,000	664,000	R2.9.1	R3.3.25	非常事態宣言やコロナ禍の生活スタイルの影響、実施期間内での利用期間が短くなり、事業への参加者が当初見込みより少なかったが、外出や遠出を自粛していた高齢者の方々に対し、地域の魅力の再確認と地域振興を兼ね備えた事業として取り組みは、一定の効果と参加者に地元愛を図ることができた。
12	情報防災室	Web会議及びオンラインイベント配信システム構築事業	今後多くなることが予定されるWeb会議に対応するため、舎内Wi-Fi環境を構築する。また、人を集めるイベントが開催できないため、オンラインイベントの環境を整え、積極的な情報発信を行い観光客や移住定住者呼び込むことを目的とする。	・オンラインイベント配信(町議会配信3回、道北TV15回) WEB会議459回(導入時～2021.9月末まで) 実績額 8,165,763円	8,165,763	7,922,000	R2.9.1	R2.12.31	システムの導入により、密を避け感染防止対策が講じられたため。
13	企画総務課企画グループ	上川町特産品PR事業	新型コロナウイルスの影響で上川町の歳入が減少することが見込まれる状況で、ふるさと納税特設サイトを立ち上げ、さらにアクセスするための運用型広告を実施することで、上川町の情報発信につなげ、ふるさと納税寄付額の向上をめざし自主財源を確保するものである。また、ふるさと納税の広告を通して、自粛後の地域への誘客促進及び層雲峡温泉街の集客増加を図る。	・ふるさと納税特設サイト開発業務委託料 511,500円 ・雑誌、新聞、WEB各種広告14件 3,388,500円	3,900,000	3,783,000	R2.9.15	R3.3.31	ふるさと納税特設サイトを立ち上げ、さらにアクセスするための運用型広告を実施することで、ふるさと納税寄付額の向上に寄与した。また、ふるさと納税の広告を通して、自粛後の地域への誘客促進及び層雲峡温泉街の集客増加を図ることができた。(ふるさと応援寄附額R1～39,606千円、R2～68,744千円)
14	企画総務課企画グループ	上川町ふるさと納税体験型返礼品開発業務委託	新型コロナウイルスの影響で減少した当時の観光客をふるさと納税の体験型返礼品を開発することで、上川町の魅力を積極的に発信し、より充実した返礼品の中から寄付者が選べる項目を増やし、寄付額の増額及び上川町への観光を誘発する効果が見込まれる。これにより、地元の事業所や生産者の利益に繋げ、地元へ還元される仕組みをつくり、ふるさと納税制度を活用し、本町の取組を応援していただける寄付者を増やし、交流人口の増加や関係人口の拡大、さらには、地域の経済活性化及び滞在型観光の創出を図ることを目的として、体験型返礼品の開発を実施する。	・ふるさと納税体験型返礼品開発業務委託(大雪山ツアーズ)ラフティングツアー、農作業体験、デイキャンプ、水像制作体験などの提案を受け、今後商品化につなげていく。	2,970,000	2,881,000	R2.7.22	R2.12.10	ふるさと納税体験型返礼品開発により、新型コロナウイルス収束後の観光需要を高めることができたと考えられる。新型コロナウイルスの影響により、観光客が少ない現状であり、寄付額の増加にはまだつなげていないが、コロナ明けの上川町への観光を誘発する効果が見込まれる。
15	企画総務課企画グループ	公共交通事業者必需物品供給事業	感染防止対策と町内の公共交通事業者及び町の委託運行事業者の事業継続を目的に、衛生及び防疫対策に係る物品を購入・配布をする。	地域公共交通事業者及び町の運行委託事業者(5社)に対する感染対策用物品を支給 ・不織布3層構造マスク4,000枚(50枚入80箱) 488,400円 ・アルコール60本(30%) 510,400円	998,800	969,000	R2.8.6	R2.8.31	地域公共交通の利用者及び事業者の従業員の感染症対策に大きな効果(感染者数0)を発揮し、継続した事業経営に資することができた。
16	企画総務課総務財政グループ	赤外線センサー付手指自動消毒器整備事業	コロナ感染症対策として、各公共施設の玄関先等に赤外線センサー付手指自動消毒器を整備することにより、非接触による手指消毒が可能となり感染防止の徹底が図られる。	①支援施設 役場庁舎、保育所、火葬場、かみぐりホール、消防署、総合体育館、医療センター、福祉会館、黒岳の湯、たいせつの子、大雪かみかわヌクモ、大雪森のガーデン、消防署層雲峡出張所 ②自動消毒器購入台数 15台 1,485,000円 ③消毒液等購入数 165L 346,830円	1,831,830	1,777,000	R2.6.10	R3.3.31	入口で手指の消毒徹底を徹底的に実施することで、職員、来庁者及び観光客等から新型コロナウイルス感染拡大(クラスター)事例の発生を防止することができた。
19	教育委員会学校教育グループ	公立学校情報機器整備事業	学校の臨時休業等の期間中における学習機会の確保のため、小・中学校の情報機器端末他を整備する。	小学校1校、中学校1校 情報機器端末179台、モバイルWi-Fiルータ20台、遠隔授業実用機器一式	22,330,000	16,534,000	R2.9.17	R3.3.31	児童生徒の学習機会を確保する環境を整え、コロナ禍における学びの保障に大きな効果を発揮した。
20	教育委員会学校教育グループ	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を整備する。	小学校1校、中学校1校 アルコール消毒液5本、非接触式電子体温計4台、PVC手袋2箱	56,000		R2.6.8	R3.3.31	児童生徒及び教職員の体調管理、校舎内の消毒を行い、感染症対策に大きな効果を発揮した。
21	教育委員会学校教育グループ	学校保健特別対策事業費補助金	感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びの保障をするための取組に必要な経費を補助する。	小学校1校、中学校1校 サーキュレーター9台、サーマルAIカメラ2台、送風機6台、加湿空気清浄機33台	3,957,052	1,920,000	R2.6.24	R3.1.26	児童生徒及び教職員の体調管理、校舎内の換気を行い、感染症対策に大きな効果を発揮した。

No	担当部局課名	交付金事業の名称	事業実績	総事業費	うち 交付金充当	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実施による効果	
22	産業経済課 観光グループ	プレミアム付商品券事業	5,000円で7,000円分購入できるプレミアム付商品券(プレミアム分2,000円、うち500円は道補助)を発行し、域内の需要喚起を図る。	・発行総額 70,000,000円(プレミアム額20,000,000円、うち北海道負担5,000,000円、交付金1,500,000円) ・利用総額 69,924,000円(利用率99.9%) ・利用可能加盟店舗:14事業所	20,591,214	15,130,000	R2.10.27	R3.3.31	利用率が99.9%となり、大きな効果を発揮した。観光業における道民割・Gotoラベルと合わせた取り組みにより集客に繋げるとともに、上川町市街地における飲食店等の景気の浮揚にむけた取り組みにより、観光業者及び商工業者の収益確保と向上を図り、上川町の経済活性化に寄与することができた。
23	情報防災室	無線システム普及支援事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国が進めている「新しい生活様式」に必要な情報通信基盤の整備として、光ファイバの未整備である地区に光ファイバ整備を行う。	・ケーブル総延長 架空 80km、地下 2km	137,880,000	83,058,000	R2.10.22	R4.3.31	高度無線環境の整備を行うことで、これまで光回線が整備されていない地域において、高速・大容量の通信が実現し、地域間の情報格差の是正やコロナ禍における「新たな日常」に対応する様々なインターネットを活用した取り組みが可能となることが期待できる。
24	情報防災室	高度無線環境整備運営経費支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国が進めている「新しい生活様式」に必要な情報通信基盤の整備として、光ファイバの未整備である地区に光ファイバ整備を行う。	・ケーブル総延長 架空 80km、地下 2km	26,875,000	4,644,000	R2.10.22	R4.3.31	高度無線環境の整備を行うことで、これまで光回線が整備されていない地域において、高速・大容量の通信が実現し、地域間の情報格差の是正やコロナ禍における「新たな日常」に対応する様々なインターネットを活用した取り組みが可能となることが期待できる。
26	産業経済課 観光グループ	飲食業緊急支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に向けた北海道の集中対策の取り組みによる外出・往來の自粛や、年末年始の会食の自粛等で、特に大きな影響を受けている飲食業を営む事業者に対し、事業継続のための緊急的な措置として支援する。	・助成金給付件数:25件 ・助成金給付総額:8,500,000円	8,500,000	8,246,000	R3.2.12	R3.3.19	対象事業者全件に助成。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に向けた北海道の集中対策の取り組みによる外出・往來、年末年始の会食の自粛等で、特に大きな影響を受けた飲食業を営む事業者に対し支援を行い、飲食業の事業継続を図ることができた。
27	保健福祉課 健康増進グループ	福祉会館感染対策用手洗い場改修事業	福祉会館内に設置されている介護事業所等(地域包括支援センター、ホームヘルパーサービスセンター、障がい福祉訪問介護ステーション)の職員やボランティアが訪問業務などの出発前や帰路後に感染対策防止や衛生管理を十分にするため、専用の手洗い場を南側通用口内の洗い場を改修し、新型コロナウイルス感染症の対策に努める目的により、効果が図られる。	1件 実績 1,815,000円 対象施設:福祉会館	1,815,000	1,761,000	R3.2.26	R3.3.26	今まで共同で使用していた手洗い場を、ホームヘルパー専用で使用することができるようになった。また、足でコントロールすることができるため、蛇口を触ることなく、手指から肘まで洗うことができるため、感染予防の面からも効果的である。
28	保健福祉課 健康増進グループ	保健事業【感染防止対策物品購入】	健康相談及び健診等の際の新型コロナウイルス感染症対策及び予防に努める目的で、対象者の感染対策及び予防対策の効果が図られる。	支援施設:1(福祉会館) マスク購入:2箱 アルコール消毒液(物品用):10個 アルコール消毒液(手指用):10個 その他消毒用ペーパー等	355,311	345,000	R3.3.16	R3.3.31	特定健診やがん検診での消毒の他、庁舎内健康相談の際に、消毒に使用した。又、マスクは、健診や健康相談、家庭訪問の際に使用している。対象者の感染対策及び予防対策につながった。
29	企画総務課 総務財政グループ	役場庁舎等新型コロナ感染防止対策物品購入事業	窓口カウンター、会議室の机、椅子等を消毒、清掃する際の物品として、アルコール消毒液(除菌剤)、拭き取り用ペーパータオル、ゴム手袋、清掃用ガウン、マイクロスプレー、掃除機等を購入し、除菌対策を行うとともに、マスク、フェイスシールド、アクリル板、パーテーション等を購入し、飛沫対策を行うことで、役場庁舎等における来庁者及び職員の感染防止対策の徹底を図る。	①支援施設 上川町役場及びかみんぐホール ②マスク購入数 15,000枚、③備品用アルコール除菌剤 270L、④手指用アルコール 285L、⑤ペーパータオル11万3千枚、⑥簡易パーテーション 150個、⑦ゴム手袋 2300枚、⑧防護服 450着、⑨非接触式体温計 5本、⑩フェイスシールド 150個、⑪アクリル板 1枚(5*90*180)、⑫ビニールシート 7m×150 1枚、⑬マイクロスプレーボトルほか 2,167,729円	2,167,729	2,103,000	R2.4.24	R3.3.31	各部署のカウンターにパーテーションを設置し、お客様が帰られたあとにカウンター、筆記用具の消毒徹底を実施した。また、職員の机の間にもパーテーションを設置し、職員間の飛沫感染抑止を図った。また、コピー機、電話、スイッチ等共有備品の消毒徹底を図った。町民・職員にマスク等を配布し感染防止を図った。これらの対策を通じて庁舎からクラスター事例の発生を防止することができた。
30	産業経済課 観光グループ	黒岳の湯感染対策用フロア改修事業	町の温泉日帰り入浴施設「黒岳の湯」における新型コロナウイルス感染症防止対策として、受付まわりや男湯・女湯への導線のフロアについて抗菌仕様のフロアに改修する。また、次亜塩素酸などの消毒剤にも耐性のある機能や消臭効果もあり施設来館者が安心して利用できる感染防止の対策を実施する。	・件数:1件 ・事業総額:1,238,292円	1,238,292	1,201,000	R3.2.22	R3.3.9	町の温泉日帰り入浴施設「黒岳の湯」受付まわりや男湯・女湯への導線フロアを抗菌仕様のフロアに改修を行い、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施することができた。
31	産業経済課 観光グループ	層雲峡観光事業感染防止対策支援金事業	層雲峡における観光関連イベントが実施される中、新型コロナウイルス感染症防止対策のための物品等購入に係る支援として、自動検温器等感染対策に係る物品を購入するための支援金を、イベント事務局である層雲峡観光協会に交付する。	・件数:1件 ・自動検温機器:1個 ・事業総額:100,000円	100,000	97,000	R3.2.10	R3.2.25	層雲峡観光協会が実施する観光関連イベントに係る自動検温機器の購入支援を行い、非接触による検温体制によりコロナ禍におけるイベントの実施体制を確立することができた。
合計					424,765,977	327,991,000			